

<p><b>2. 武道の必修化について</b></p> <p>平成 24 年度より中学校の体育の授業において「武道」が必修化されることになった。</p> <p>現在、武道については、「ダンス」との選択が可能な状況であるが、目とんどの中学校では武道の授業が選択されていると聞いている。</p> <p>「武道」を選択した場合は、ほとんどの学校が柔道もしくは剣道を実施しているが、相撲連盟の会長である私としては、是非「相撲」を取り入れていただきたいと考えている。</p> <p>相撲を取り入れることについて要望してはいるか、相撲を指導できる教員がいないという話を聞く。</p> <p>指導員については、まことにたくさんの大相撲経験者もおおり、派遣することもできる。</p> <p>相撲を授業に取り入れることについての努力について伺いたい。</p> <p>(要望)</p> <p>武道について述べたが、音楽についても、三味線や琴や尺八を教えている入札沢山いるので、そういった方々を是非取り入れていただきたい。</p>	<p>大寺 社会 教育部長</p>	<p>武道の必修化についてだが、現行の学習指導要領は、中学 1 年生の段階から種目選択制をとっており、武道とダンスの選択が行われており、83 校の中学校のうち、柔道は 68 校、剣道は 9 校が実施している。残り 6 校はダンスを選択しており、相撲は実施されていない</p> <p>新学習指導要領では、平成 24 年度から、中学 1 年・2 年の体育で武道が必修化となる。武道を通じて、わが国固有の文化を学ぶとともに自己を律し、相手を尊重し、礼儀を重んじることを理解できるようにすることとしている。</p> <p>また、部活動において相撲部のある学校は、平成 2 年以後は夢野中学校のみで、平成 21 年度は部員がおらず休部している状況である。</p> <p>学校は、体育科教員の指導総験や活動場所の確保等を考え、学校ごとに種目を決めるが、学校に問い合わせたところ、柔道が最も多く、続いて剣道となっており、実際に指導経験のない相撲を予定しているところは、今のところはない。</p> <p>授業における選択決定においては、生徒の種目に対する興味関心・教員の指導経験・施設・用具等の整備が大きな要素となっており、柔道・剣道に目を向けている学校が多いのが現実である。</p> <p>また、体育科教員に関しても、大学の教員養成課程において、相撲の履修は非常に限られた学校だけで、多くの教員は相撲を経験していないため、指導経験のない相撲を選択しない要固のひとつになっている。</p>
--	-------------------	--

<p>外国人の方で尺ハを習っている方もいる。国際色豊かな神戸だからできることであり、そのような視点でもっとがんばっていただきたい。</p>		
---	--	--